

## 令和6年度 年度始め部課長への訓示

今日から、新年度のスタートとなります。

毎年のことですが、新しい体制となりましたので、新たな気持ちで職務に精励してもらいたいと思います。

部課長の皆さんには、それぞれが与えられた役割をしっかりと果たしてもらいたいと思っていますが、守備範囲は自分で決めないでください。自分の部署には関係ないと思っていても、案件によっては、どこに飛んでくるかわかりませんので、しっかりと情報を共有しながら、お互いに当事者意識を持つよう心掛けてください。

さて、自治体を取り巻く課題と言えば、ここ数年、「少子高齢化」や「デジタル化」、「脱炭素化」が毎年取り上げられていますが、どれも特効薬があるわけではありませんので、着実に取組みを前進させていかなければなりません。

また、村民生活に関わるところでは、買い物支援や公共交通、地域の担い手不足なども、ますます顕在化しており、これらの対応も待ったなしの状況にあります。調査研究や協議検討も大事ですが、机上で考えているだけでは変わりません。トライ＆エラーで、まずは行動に移していきましょう。

今年度は、新しい総合計画を策定しますが、私は、5年先、10年先の村の将来をイメージしながら、ありたい姿を「ビジョン」として明確に打ち出していきたいと考えています。あれもこれもと総花的になることは避けて、新しい発想で計画づくりに取り組みたいと思っていますので、一緒にチャレンジしていきましょう。

ここで、一つだけ、皆さんに申し上げておきます。

デジタル化と働き方改革は、同時に進めていかなければならないということ。

BPRの推進やオフィス改革への取組みなど、これまで皆さんには、通常業務に加えての作業ということで負担をかけてきたかと思いますが、新しい役場への転換に向けた準備運動は出来たと思っています。

そして今、自治体情報システムの標準化・共通化が目前に迫っています。これを更なる好機と捉えて、「念のために」という発想を捨てて、仕事のしかたをドラスティックに変えていきましょう。

私は、住民サービスにおけるデジタル化を推進するために、フロントヤードの改革が欠かせないと思っていますが、同時に、バックオフィスを変えないと皆さんの働き方は変わらないと思っています。これからが正念場です。頑張りましょう！

最後に、原子力政策についても触れておきたいと思います。

昨年末に本村独自のスタイルで「住民避難計画」を策定しましたので、まずは、広く村民の方々へ周知していくことが大事です。各部においても。関係団体等に対して、関心を高めていただくよう働きかけをお願いします。そして、防災対策は、常にアップデートしていくことが肝要ですので、計画の実効性を高めていくうえでも、役場全体で一緒になって取り組んでまいりましょう。

私は、役場職員が心身ともに健康でなければ、最終的には住民サービスは向上しないと思っています。部課長の皆さんには、引き続き、コミュニケーションをしっかりと取りながら、職員をフォローしていただくようお願いします。

今年度も、大きな成果を出せるよう皆さんの活躍を大いに期待しています。

以上、訓示とします。